



2025年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月15日

上場会社名 朝日インテック株式会社 上場取引所 東・名
コード番号 7747 URL <https://www.asahi-intecc.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮田 憲次
問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 伊藤 瑞穂 (TEL) (0561) 48-5551
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第3四半期の連結業績(2024年7月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		のれん償却額等 を除く営業利益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第3四半期	91,815	13.7	27,227	28.6	25,715	30.8	25,594	30.4	8,763	△37.6
2024年6月期第3四半期	80,733	15.7	21,168	18.6	19,656	19.7	19,621	23.0	14,040	17.2

(注) 包括利益 2025年6月期第3四半期 5,563百万円(△66.4%) 2024年6月期第3四半期 16,545百万円(36.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第3四半期	32.26	—
2024年6月期第3四半期	51.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期第3四半期	182,695	151,982	82.8
2024年6月期	191,614	151,961	78.9

(参考) 自己資本 2025年6月期第3四半期 151,194百万円 2024年6月期 151,217百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	20.37	20.37
2025年6月期	—	0.00	—	—	—
2025年6月期(予想)	—	—	—	24.23	24.23

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年6月期の連結業績予想(2024年7月1日～2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		のれん償却額等 を除く営業利益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	119,160	10.8	30,476	26.1	28,859	30.4	28,987	32.0	11,314	△28.4	41.66

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2 のれん償却額等を除く営業利益＝営業利益＋のれん償却額等

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年6月期3Q	271,633,600株	2024年6月期	271,633,600株
② 期末自己株式数	2025年6月期3Q	7,977株	2024年6月期	7,955株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年6月期3Q	271,625,628株	2024年6月期3Q	271,625,662株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(収益認識関係)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、現中期経営計画「ASAHI Going Beyond 1000」において、以下の4つの基本方針を定めており、これらの成長戦略を着実に推進することで、さらなる企業価値の向上を目指しております。

- ①グローバル市場の戦略的な開拓と患部・治療領域の拡大
- ②グローバルニッチ市場における新規事業の創出
- ③グローバル展開に最適な研究開発・生産体制の構築
- ④持続的成長に向けた経営基盤の確立

これらの戦略に基づき事業を推進した結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は下記のとおりとなりました。

売上高は、継続的な市場シェアの拡大や外貨高による為替の影響などにより、主にメディカル事業が国内外共に好調に推移し、918億15百万円（前年同期比13.7%増）となりました。

売上総利益は、売上高の増加や生産性向上に伴う売上総利益率の上昇により、622億63百万円（同18.6%増）となりました。

営業利益は、米国の非循環器領域及び国内の新領域における販売強化を目的とした営業関連費用や研究開発費の増加などにより、販売費及び一般管理費が増加したものの、257億15百万円（同30.8%増）となりました。

経常利益は、為替差損の増加などがあったものの、補助金収入の増加などにより255億94百万円（同30.4%増）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、減損損失などの特別損失の計上により、87億63百万円（同37.6%減）となりました。特別損失の詳細につきましては、2025年5月15日付け「特別損失の計上と通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当第3四半期連結累計期間における外国為替レート実績は、下記となります。

- 1 米ドル＝151.48円（前年同期147.13円、比3.0%増）
- 1 ユーロ＝162.50円（前年同期159.25円、比2.0%増）
- 1 中国元＝20.98円（前年同期20.34円、比3.1%増）
- 1 タイバーツ＝4.42円（前年同期4.15円、比6.5%増）

セグメントごとの経営業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間の期首より、報告セグメントの利益又は損失の測定方法を変更しております。詳細は、「2 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）II 当第3四半期連結累計期間の「2 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

また、セグメントごとの比較情報については、前第3四半期連結累計期間の数値を測定方法変更後のセグメント情報に組み替えた数値で比較しております。

（メディカル事業）

メディカル事業においては、全地域で市場シェアの継続的な拡大や外貨高による為替の影響などにより、売上高が好調に推移し、増加いたしました。

国内市場では、循環器系領域の堅調な推移に加え、非循環器領域においても末梢血管系製品（輸入仕入品）や脳血管系製品が高く評価され、好調に推移したことから、売上高が増加いたしました。

海外市場においては、循環器系領域・非循環器系領域のいずれも売上高が増加いたしました。循環器系領域については、前第1四半期連結会計期間に欧州地域の東欧販売代理店向けに通期分の一時的な集中受注があったため、表面的には伸び率が低く見えますが、実質的には全地域でPCIガイドワイヤーや貫通カテーテルを中心に売上高が大変好調に推移いたしました。非循環器系領域では、米国でOEM取引が減少したものの、中国市場の脳血管系製品や米国市場の腹部血管系製品が好調に推移したことなどから、売上高は増加いたしました。

以上の結果、売上高は827億21百万円（前年同期比15.5%増）となりました。

また、セグメント利益は、274億16百万円（同35.1%増）となりました。

(デバイス事業)

デバイス事業は、産業部材がやや減少したものの、医療部材が増加したことにより、売上高は横ばいで推移いたしました。

医療部材については、アジア向け循環器系検査用カテーテル部材の取引が増加したことなどから、売上高は増加いたしました。

産業部材については、国内市場の建築関連取引や海外市場のOA機器関連取引が増加した一方で、国内市場の自動車関連取引や海外市場のレジャー関連取引が減少したことなどにより、売上高はやや減少いたしました。

以上の結果、売上高は、90億94百万円（前年同期比0.3%減）となりました。

また、セグメント利益は、外部顧客への売上高の減少により、38億56百万円（同12.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、総資産額が1,826億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ89億18百万円減少しております。主な要因は、のれんが67億78百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、負債合計額が307億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ89億39百万円減少しております。主な要因は、長期借入金が6億33百万円増加した一方で短期借入金が40億33百万円、賞与引当金が13億56百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産につきましては、純資産合計額が1,519億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ21百万円増加しております。主な要因は、為替換算調整勘定が27億64百万円減少した一方で利益剰余金が32億30百万円、非支配株主持分が43百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月15日付け「特別損失の計上と通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表のとおり、最近の業績動向等を踏まえ、2025年6月期通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、同日付けの当該お知らせをご参照ください。

なお、当社は通期個別業績予想を開示しておりませんが、以下のとおり前事業年度の実績値と比較して乖離が生じる見込みとなりましたので、お知らせいたします。

(単位：百万円)

通期	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前事業年度実績 (A)	73,810	13,841	13,922	10,895
今回予想 (B)	93,679	18,420	34,231	20,113
対前期増減額 (B-A)	19,868	4,579	20,308	9,218
対前期増減率	26.9%	33.1%	145.9%	84.6%

売上高は、継続的な市場シェアの拡大や外貨高による為替の影響などにより、主にメディカル事業が国内外ともに好調に推移し、増収となる見込みです。

営業利益は、研究開発費を中心として、販売費及び一般管理費が増加しましたが、売上高の増加により、増加を見込んでおります。

経常利益は、子会社からの受取配当金の増加及び営業利益の増加により、増加を見込んでおります。

当期純利益は、関係会社株式評価損、関係会社貸倒引当金繰入額の発生などがあるものの、経常利益の増加により、増加を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,658	41,943
受取手形及び売掛金	17,676	16,935
電子記録債権	1,913	2,194
有価証券	3,000	3,998
商品及び製品	9,282	8,543
仕掛品	12,298	9,630
原材料及び貯蔵品	7,763	6,734
その他	7,609	7,129
貸倒引当金	△505	△400
流動資産合計	94,696	96,711
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	31,585	32,820
その他（純額）	28,543	26,502
有形固定資産合計	60,129	59,322
無形固定資産		
のれん	6,910	131
その他	10,048	5,541
無形固定資産合計	16,959	5,673
投資その他の資産	19,828	20,988
固定資産合計	96,917	85,984
資産合計	191,614	182,695

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,289	2,661
電子記録債務	625	425
短期借入金	5,615	1,581
未払法人税等	2,683	3,635
賞与引当金	2,700	1,343
その他	15,580	10,340
流動負債合計	29,494	19,988
固定負債		
長期借入金	1,087	1,720
役員退職慰労引当金	19	19
退職給付に係る負債	2,851	3,051
その他	6,199	5,932
固定負債合計	10,157	10,724
負債合計	39,652	30,712
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,860	18,860
資本剰余金	21,779	21,779
利益剰余金	90,742	93,972
自己株式	△7	△7
株主資本合計	131,375	134,605
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,689	2,220
為替換算調整勘定	17,142	14,378
退職給付に係る調整累計額	9	△9
その他の包括利益累計額合計	19,841	16,588
非支配株主持分	744	788
純資産合計	151,961	151,982
負債純資産合計	191,614	182,695

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
売上高	80,733	91,815
売上原価	28,224	29,551
売上総利益	52,508	62,263
販売費及び一般管理費	32,851	36,548
営業利益	19,656	25,715
営業外収益		
受取利息	75	81
受取配当金	39	85
補助金収入	79	864
その他	181	206
営業外収益合計	376	1,236
営業外費用		
支払利息	198	204
為替差損	131	948
その他	81	204
営業外費用合計	411	1,357
経常利益	19,621	25,594
特別利益		
投資有価証券売却益	4	23
貸倒引当金戻入額	—	100
特別利益合計	4	123
特別損失		
減損損失	—	※ 9,300
投資有価証券評価損	99	759
関係会社株式評価損	—	210
関係会社貸倒引当金繰入額	—	461
貸倒引当金繰入額	100	—
その他	0	—
特別損失合計	199	10,730
税金等調整前四半期純利益	19,425	14,987
法人税、住民税及び事業税	4,478	6,953
法人税等調整額	828	△780
法人税等合計	5,307	6,172
四半期純利益	14,118	8,815
非支配株主に帰属する四半期純利益	78	52
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,040	8,763

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益	14,118	8,815
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	221	△469
為替換算調整勘定	2,211	△2,764
退職給付に係る調整額	△6	△18
その他の包括利益合計	2,426	△3,252
四半期包括利益	16,545	5,563
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,428	5,519
非支配株主に係る四半期包括利益	116	43

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※減損損失

当第3四半期連結累計期間において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

子会社 (場所)	用途	種類	減損損失 (百万円)
朝日サージカルロボティクス㈱ (千葉県柏市)	事業用資産	のれん その他の無形固定資産他	1,986
Pathways Medical Corporation (米国 カリフォルニア州)	事業用資産	のれん その他の無形固定資産他	3,679
Rev. 1 Engineering, Inc. (米国 カリフォルニア州)	事業用資産	のれん その他の無形固定資産他	1,642
ASAHI Medical Technologies, Inc. (米国 カリフォルニア州)	事業用資産	のれん他	1,991

当社グループは、管理会計上の単位を資産グループの基礎とし、独立したキャッシュ・フローを生み出す最小単位でグルーピングしております。

上記の連結子会社において、経営環境及び今後の事業計画を勘案した結果、収益性の低下等により投資額の回収が見込めなくなったことから、のれん及びその他の無形固定資産他の減損損失を計上しております。

回収可能価額の算定は使用価値によっておりますが、将来計画を見直した結果、算定期間における当該資産の利用によるキャッシュ・インフロー(収入)よりも、維持・運用するために必要なキャッシュ・アウトフロー(支出)の方が大きく、使用価値はゼロとして算定しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディカル事業	デバイス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	71,607	9,125	80,733	—	80,733
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	10,231	10,231	△10,231	—
計	71,607	19,356	90,964	△10,231	80,733
セグメント利益	20,286	4,415	24,702	△5,045	19,656

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディカル事業	デバイス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	82,721	9,094	91,815	—	91,815
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	10,787	10,787	△10,787	—
計	82,721	19,881	102,602	△10,787	91,815
セグメント利益	27,416	3,856	31,273	△5,557	25,715

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

第1四半期連結会計期間の期首より、従来「メディカル事業」及び「デバイス事業」セグメントに含めていた一部の連結子会社の一般管理費を、組織拡大等に伴い報告セグメントに帰属しない一般管理費(全社費用)に含めております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の測定方法に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において、「メディカル事業」の固定資産の減損損失を計上しております。当該減損損失の計上額は、9,300百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、「メディカル事業」ののれんの減損損失を計上したため、のれんの金額が減少しております。当該事象によるのれんの減少額は、5,663百万円であります。

なお、上記（固定資産に係る重要な減損損失）に当該のれんの減損損失も含めて記載しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	6,296百万円	7,058百万円
のれんの償却額	937百万円	934百万円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(1) 種類別の内訳

前第3四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント		
	メディカル事業	デバイス事業	計
循環器	54,014	—	54,014
非循環器	11,573	—	11,573
OEM	6,019	—	6,019
医療部材	—	5,910	5,910
産業部材	—	3,215	3,215
合計	71,607	9,125	80,733

当第3四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント		
	メディカル事業	デバイス事業	計
循環器	62,649	—	62,649
非循環器	14,174	—	14,174
OEM	5,897	—	5,897
医療部材	—	6,019	6,019
産業部材	—	3,074	3,074
合計	82,721	9,094	91,815

(2) 地域別の内訳

前第3四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント		
	メディカル事業	デバイス事業	計
日本	10,903	2,096	12,999
北米	15,773	3,353	19,127
欧州	16,750	302	17,052
中国	17,589	473	18,063
その他	10,589	2,900	13,490
合計	71,607	9,125	80,733

当第3四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント		
	メディカル事業	デバイス事業	計
日本	11,967	2,084	14,052
北米	17,033	2,874	19,907
欧州	18,071	376	18,448
中国	23,101	405	23,506
その他	12,547	3,353	15,900
合計	82,721	9,094	91,815

(重要な後発事象)

(自己株式の取得及び自己株式の消却)

当社は、2025年5月15日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議するとともに、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却を決議いたしました。

詳細につきましては、2025年5月15日付け「自己株式取得及び自己株式消却に関するお知らせ」をご参照ください。